

令和元年度外部評価選定計画一覧

地域名	課題名	取組期間	対象名	内容	備考
東青 地域県民局	「青天の霹靂」の 安定生産と食味のレ ベルアップ	R1～3 年度	青森農協「青天の霹靂」生産者部会（51名）、青森県米穀集荷協同組合「青天の霹靂」作付生産者部会（3名）、川長（6名） 延べ60名（うち重複5名、実数55名）	「青天の霹靂」のブランドを維持するためには、食味のレベルアップと収量増が喫緊の課題であり、生産目標未達者や新規作付者をターゲットとした、基本技術の励行推進ときめ細やかな情報提供による重点的な指導が必要である。 生産目標未達者については、玄米タンパク質含有率と10a当たり収量でランク分けし、玄米タンパク含有率6.0%以上、10a当たり収量9.0俵未満の生産者のレベルアップを目指すこととする。	
中南 地域県民局	リンゴ黒星病被害 防止に向けた総合防 除対策の推進	R1～ 5年度	管内りんご共防連 (3,168名)	平成30年には耕種的防除である被害果の摘取が積極的に実施され、黒星病の被害果発生率（ふじ、7月）が0.3%まで減少した。しかし、黒星病の発生は地域全体で見られており、多発園も見られたことから、菌密度は依然として高いと予想される。 このため、耕種的防除と薬剤防除による効果的な総合防除対策を推進し、黒星病の菌密度を低下させ、被害を防止する必要がある。	
三八 地域県民局	「ジュノハート」 のブランド化に向け た高品質安定生産の 推進	R1～ 2年度	おうとう「ジュノハート」ブランド化推進協議会登録生産者（三八地域92名、毎年更新） （南部町おうとう「ジュノハート」ブランド化推進委員会生産者部会58名、J A八戸果樹総合部会さくらんぼ専門部35名、県南果樹研究会6名）※人数は重複あり	ジュノハートの高品質安定生産のため、登録生産者に対して摘果等の栽培技術の普及を図る。さらに、収量を確保できる生産者を選定し、生育ステージや栽培技術のポイント、課題を把握して地域生産者への普及や技術改善につなげる。 また、ブランド規格の出荷拡大に向け、ブランド化のメリットや出荷規格・出荷方法を周知する。	
西北 地域県民局	スマート農業を活 用した大規模稲作省 力作業体系の構築	R1～ 2年度	（株）十三湖ファーム、津軽米づくりネットワーク（41名）、五所川原広域水田フル活用推進協議会（25名）	スマート農業については全国的に導入実績が少なく、経営改善の指標もなく、また、適切な利用方法を指導できる技術者もないことから、経営体は導入に踏み切れない状況にある。 このため、スマート農業の現地実証により、実際に見せる、触れさせることで経営体を啓発するとともに、経営及び栽培技術に関するデータを収集し、その早急な普及を目指す。	

地域名	課題名	取組期間	対象名	内容	備考
上北地域 県民局	優良種苗供給体制 強化によるにんにく 産地の再構築	R1～ 3年度	JAゆうき青森野菜振 興会にんにく部会 (本所管内)、JAゆ うき青森野菜振興会 種子部会にんにく部 門、にんにくプロ ジェクトチーム (98 名、2名、11名)	種苗増殖にあたっては種苗専用ほ場に 作付を行うのが最も望ましいが、セン チュウ非汚染ほ場の検定には複数年を要 することがほ場確保を困難にしている。 また、種子ほ場におけるウイルス感染 株抜き取りも徹底されていない。 さらに、収穫量に見合わない規模の乾 燥施設による作業や不適切な乾燥管理に より自家増殖中の種苗に障害が発生する ケースが散見されるため安全な乾燥管理 を徹底する必要がある。	
下北地域 県民局	下北地域の農業を担 う人財の育成	R1～ 2年度	農業次世代人材投資 資金活用者 (19 名)、認定新規就農 者、新規就農者等	下北地域の新規就農者は、他産業から の新規就農者が多く、その半数は夏秋い ちごとににんにくを栽培しているが、農業 所得が少ないことや技術の未熟さ、施設 投資資金の不足等が課題となっているこ とから、新規就農者の栽培技術及び経営 管理技術の底上げが必要である。	